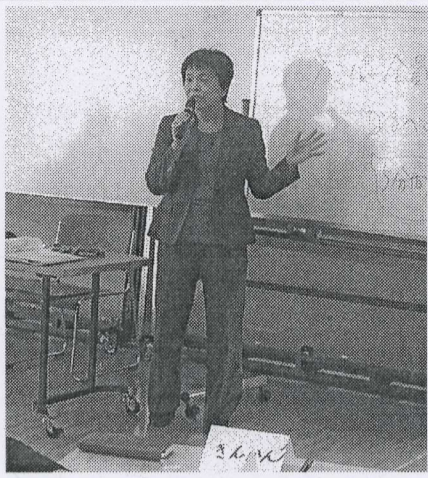


# 第4回研究専門委員会

## 対立を恐れられないことが大切

### 納得できる合意形成とは

「平成23年度大阪市地域女性団体協議会(市女性会)研究専門委員会」の第4回が11月9日、大阪市立男女共同参画センター(クレオ大阪中央)において開催された。



森野和子講師

参加者は前回と同様、各区会長・副会長36名、吉田静子市女性会副会長の司会で始まり、吉村八重子市女性会会長から「研究専門委員会も、今日で4回目を迎えた。最初は難しく思ったかもしれないが、回を重ねるに従って学習効果が現われてきたように感じる。女性



森野講師を中心に熱心に研修

の発展のため、そして何よりもリーダーである自分のための学習である。今後の活動に活かしていってほしい」とあいさつがあった。

第4回のテーマは「みんまで話し合い、ネット合意形式『?』『!』」が未来をつくる『Re・楽習』世代につなぐ女性会へ解決編』。講師は(株)ライフキャリアデザイン・アンソニエツ代表取締役の森野和子氏。

#### 研修概要

- ★はじめに
- (1) グランドルール(受

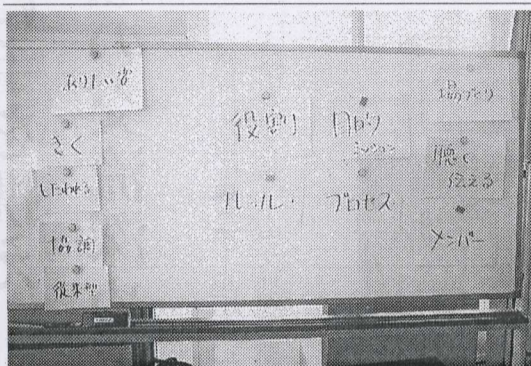


講の際の約束(ご)の再確認と名札づくり

(2) 前回のふりかえり

★わかりやすく伝えるために「ロジカルさ」を身につける

(1) 「ロジカル」とは意見の異なる相手に自



分の意見を述べる時は単に「伝えたいこと」が何か伝わるだけでなく、相手を納得させなければならぬ。納得させるためには、「相手が納得する理由」が必要であり、「理由が主張をしっかりと支えている状態」を「ロジカル」という。6W2Hを意識して、①主語を入れて話す②「なにを」を意識する③言葉に敏感になる、正確に使う④具体的に話す⑤最後まできちんと伝える、ことが大切である。

(2) 「ロジカル」に「話す」話している方も筋道がたって説明力が増すし、聞いている方もすっきりとわかりやすい。結論から話し、理由と根拠を

示す、データを活用するとわかりやすく伝えられる。

#### ★「発想力」を育てよう

(1) 企画のタネは「!」

企画を立てる時には、問題意識を持って現状を見ると同時に、目標や「やりたい姿」を持つことが必要である。

(2) あなたのアイデアはわかるか?

企画を深めるために「発想力」が不可欠である。いかにたくさん自分のアイデアを出せるか、自分のとらわれ、固定観念をどうはずすかが重要である。

「ワーク1」アイデア発想「それぞれで、赤レンガの利用法」を思いつくままにたくさん書き出す。

「ワーク2」ブレインライティング「模造紙にキーワード「リーダー」から連想する言葉を書き出す。他のメンバーが書いた言葉に続けてどんどんつなげていく。

(3) 発散から収束へ

アイデアをよりあえずたくさん出した上で

#### あとは実践あるのみ

##### ＜研修を受講して＞

今回は、みんなが納得できる合意形成のための進め方について学習した。今後、企画で実際に対立した時、協同的に対立を解消することができると、地域に持ち帰った場合、合意形成のポイント

#### 整理し絞り込んでいく。

この二つは分けて進めると効果的である。

★結果の出る話し合いのためのスキル

◆何かを決める時、「今年までのおさし」「去年もこれでやったから」で終わっていないか。少数意見を「余計なこと」と思っていないか。

変化を起すこと自体は「悪」や「波風をたてる」ことではない。その決め方、筋道が通って

れば必ず周囲も納得するはずである。どう折り合いをつけるか、納得するか、合意できるかが重要であり、対立がなければ、あえて作り出すこともできる。

合意を形成しようとする、意見や価値観の相違から対立・葛藤・衝突が生まれるのは当たり前である。合意形成には対立は欠かせない、対立は悪いものではない、対立を恐れないことが必要

である。

◆協同的に対立を解消するための5つのステップ

- ①グループの信頼関係をつくる
- ②お互いの要求を見極める
- ③対立を定義しなおす
- ④要求に優先順位をつけ、その差異に着目する
- ⑤双方の要求を満たすためのアイデアを考案する

◆合意形成のポイント

組織やグループで何か一つのものを作り上げる時、大切なコミュニケーションの取り方。それぞれにとっては、必ずしもベストの案でなくても、メンバー全員が互いに納得して支持できる案を、みんなで作って出していくことが合意形成である。

①まず自分で考える

②話し合いの中で二人ひとりが自由に話せたか? 納得できるまで話し合い、自分の意見に固執しない。少数意見は邪魔でなく、幅を持たせるものとして尊重する

③みんなの共通の新しい答えをつくる。

「ワーク3」合意形成「短時間(2分)で全員で、キレイな円(一枚の用紙を埋め尽くす作業)」8分間の作戦タイムで、どのような作業をするかメンバーで話し合い合意を得る。2分

間、描き終えた後に発表。どのように決めて描いたか、話し合いや出来具合に対しての満足度はどうか、ふりかえりをする。

最後に「どんなリーダーになりたいか。なるたけには今後どのようにして「たらいか」を書いて提出した。

以上で第4回市女性会研究専門委員会は定刻通り終了した。

次回は12月7日に開催予定。